

本稿は、8月22・23日に行われた自治労連第43回定期大会での代議員発言について、加筆・修正したものです。

## 今こそ、職場の仲間・組合員に寄り添う労働組合の 役割果たし、いのちとくらしを守る社会、政治の転換を

大阪自治労連

はじめに、大阪市労組、泉佐野りんくう病院労組、枚方市職労、堺学童労組、そして昨日発言した守口市学童労組の争議について、本部はじめ全国からの支援にお礼申し上げます。

詳細は控えますが、労働組合や組合員への不当な扱い、不利益を許さず権利守るたたかいに、少しずつではありますが展望が見えてきています。今後も、たたかいの意義や問題の本質を示しながら、力を弱めることなく続けていきますので引き続きの支援をよろしくお願いします。

### 今こそ、職場の仲間・組合員に寄り添う労働組合の役割果たすたたかいを

コロナ禍が続く中、大阪自治労連は全単組に「住民のいのちとくらしをまもる体制の確保」「職員のいのちと健康をまもるための体制の確保」を求め、要求書や要請書を出し交渉・懇談を呼びかけてきました。

感染防止の措置や人員の確保など一定の改善はされていますが、一方で長時間労働や、応援による通常業務への支障は深刻化しています。

また、新規採用者に仕事を教えるどころか、日常会話もできないような状況で、職員が孤立している状況です。オンラインを活用した交流や、残業が多い職場をまわるなど、工夫しながらがんばっている単組がいくつもありますが、抜本的な解決に至っていないのが実情です。

先日の本部執行委員会では、本庁職場から「職員の感染が増えて、このままだと業務が止まってしまう」、保育・学童からは「クラスターが発生し、休園・休室が続けて出ている」、医療現場からは「家族がまるごと入院、妊婦が重症化、病床はほぼ満床」など、深刻な状況が出されています。

今、自治体・公共関係職場が「住民のいのちとくらしをまもる」ことができない事態となり、職員のいのちと健康をまもることもできない状況が広がっています。

全国の地方組織と本部が力と知恵を集中して、職場の実態と仲間の声を可視化し、抜本的に人員を増やしコロナ対策の転換を求める取り組みの強化が必要ではないでしょうか。自治労連の使命として、職場・地域の実践を

交流し討議できる場をぜひ作っていただきたいと思います。

会計年度任用職員制度が実施され1年半が経過しました。この間、手当支給や休暇などの改善など一定の前進はありましたが、一方で重要な問題が明るみになってきています。8月12日に大阪自治労連は「自治体で働く非正規労働者の実情を知ってほしい」との思いで記者会見を行いました。

学童保育指導員を20年している方は、「何も悪いことをしていないのに、1カ月分の減給になった」と話し、郷土資料室で33年働いている方は、「変わったのは名前だけ。何も良くなっていない」と訴えました。

他にも、長年働いてきた保育士が「人事評価」により「更新しない」と言われたこと、別の市の図書館司書からは『業務の分担に偏りがあるので検討できないか』と会議で発言したら、後から注意された。人事評価が入ったから、更新はないかも…」と不安を口に出していることなどを紹介しました。

会計年度任用職員制度は、誰よりもまじめに、コロナ禍でも懸命に働いて来た非正規職員をどう扱ったのでしょうか。「公務労働は任期の定めのない常勤職員で行う」原則を棚上げにし、「会計年度任用」という名前で正規に替えて仕事をさせる。人事評価で選別し、雇用不安は解消せず。これで自治体は役割を果たせるのでしょうか？

働く者の誇りと仕事を奪うこの制度は、抜本的な見直しが必要です。「公務労働に正規も非正規もありません」「コロナ対応に正規も非正規もありません」。自治労連として、制度の見直し・法改正を求める運動を強めることが必要です。

## いのちと暮らしを守る社会

### 政治の転換めざすたたかいを

さて、昨年11/1、大阪では大阪市の存続・廃止を問う住民投票がありました。当初、相手陣営が圧倒的有利とされていましたが、全国のみなさんからの支援、大阪府民・市民の力で勝利し、大阪市を守りました。

この教訓から、職場の仲間に「政治を変えよう」のメッセージを届ける運動を広げることが大切です。「政治は変わらない」「自分には関係ない」「仕方ない」と、あきらめている仲間がいたら、あらゆる方法で対話をひろげようと呼びかけたいと思います。

政治と行政にかかわるのは公務員として当然のことです。

全国のみなさん、総選挙が目前に迫っています。自治体の役割、公務労働のあり方を真っ向から否定する、維新の会や現在の菅政権では「住民の命やくらしはまもれない」のは明らかです。

大阪自治労連は、「政治を変えてくらしを変える」そのたたかいの先頭に立ち奮闘する決意を表明し、発言を終わります。ありがとうございました。